

## ミスミグループ本社 2019年3月期 第2四半期 連結業績

～ 売上高は上期として過去最高を更新、成長投資前倒しにより減益 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2019年3月期 第2四半期累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減率
売上高	152,465	166,668	+9.3%
のれん等償却前 営業利益 ※	20,074	16,202	-19.3%
営業利益	18,902	15,896	-15.9%
純利益	13,040	11,573	-11.2%
1株当たり純利益	46.63円	40.84円	

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

### <2019年3月期第2四半期累計期間の連結業績ハイライト>

1. 中国などで貿易摩擦による製造業の景気減速見られる中、当社連結売上高はVONA事業、FA事業の成長により対前年同期比9.3%の増収を確保したものの、期初計画に対してはわずかに未達

営業利益は成長投資の前倒し等により、過去最高の前年同期に比べて減益

- 当第2四半期連結累計期間における世界経済および日本経済は、貿易摩擦への懸念から製造業の設備投資に慎重さが見られるなど、アメリカを除く各地域で景気は減速傾向となりました。中国では貿易摩擦の影響により輸出入関連が鈍化し始め、アジア、欧州でも輸出環境悪化への懸念により製造業の景況は減速しつつあります。また、日本の製造業も原材料高騰などの影響により景況は弱含みとなり、さらに足元では貿易摩擦への懸念により生産用機械、自動車関連分野で不透明感が増しています。
- こうした環境においても当社グループの戦略は変わることなく、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献しています。今期においてもITを核とした新たなものづくりに応えるため、各国の現地ニーズに即時対応できる地域別ECサイト構築を加速するなど、競争力を強化しました。また、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進するとともに国内外で物流拠点を拡張するなど、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。
- こうしたビジネスモデルの進化により顧客に対して高い利便性を提供、製造業の需要が減速傾向となる中においても、国内外でメーカー事業・流通事業それぞれで顧客数を拡大することができました。また、VONA事業の国際展開加速による売上高伸長もけん

引し、計画未達ながらも対前年を上回る連結売上高を確保しました。

- こうした結果、連結売上高は 1,666 億円、前年同期比 9.3%（現地通貨ベース+8.9%）の増収となり、半期決算としては、過去最高の売上高を更新しました。利益面につきましては、成長加速に向けた投資を前倒して実行したことなどにより、営業利益は 158 億円（前年同期比-15.9%）、経常利益は 159 億円（前年同期比-14.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益は 115 億円（前年同期比-11.2%）となり、半期決算として過去最高額であった前年同期に比べ減益となりました。

## 2. VONA事業は国際展開拡大、FA事業は自動化需要を捉え成長を継続

- 2019年3月期第2四半期累計期間のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	51,731	56,068	+8.4%	+7.9%
金型部品事業	38,692	38,494	-0.5%	-0.7%
VONA事業	62,041	72,105	+16.2%	+15.8%
合計	152,465	166,668	+9.3%	+8.9%

- FA事業は、自動化需要を捉え、グローバルでQCT（高品質(Quality)、低コスト(Cost)、確実短納期(Time))を強化することにより、前年同期比 8.4%の増収となりました。
- 金型部品事業は、アジアにおける販売活動が好調だったものの、日米の自動車関連業界の需要減などにより、前年同期比 0.5%の減収となりました。
- VONA事業は、品揃えの強化などにより、国内の成長が持続したことに加え、アジアの展開拡大などが寄与し、前年同期比 16.2%の増収となりました。

## 3. 中国の成長が鈍化したものの、アジア、ヨーロッパが成長をけん引

- 2019年3月期第2四半期累計期間の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	79,289	85,461	+7.8%	-
海外	73,175	81,207	+11.0%	+10.2%
中国	29,121	30,933	+6.2%	+4.9%
アジア	20,690	25,409	+22.8%	+22.1%
アメリカ	13,318	13,496	+1.3%	+1.9%
ヨーロッパ	7,502	8,633	+15.1%	+12.9%
その他	2,542	2,734	+7.5%	+8.0%

- 日本では、自動化需要の取り込みやVONA事業の販売拡大などに努めた結果、前年同期比 7.8%の増収となりました。
- 海外では、アジアにおけるFA事業、VONA事業の拡大などにより、前年同期比 11.0%の増収となりました。

#### 4. 第2四半期末の配当金は10円21銭、前年比1円31銭減

- 当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めております。
- 配当に関しては、配当性向25%を基準に決定しておりますため、当第2四半期末の1株当たり配当金を10円21銭（前年比1円31銭減）とさせていただきます。
- 期末配当予想については、前回予想を0円16銭下回る12円46銭（前年比1円38銭増）に修正いたしました。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	12円53銭	12円62銭	25円15銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%
今回修正予想	—	12円46銭	22円67銭
配当性向	—	25.0%	25.0%
当期実績	10円21銭	—	—
前期実績	11円52銭	11円08銭	22円60銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%

#### 5. 2019年3月期連結業績予想を修正

- 2019年3月期の通期連結業績予想については、今後の市場環境や需要動向等を考慮し、2018年5月10日公表の業績予想から以下の通り下方修正いたします。

2019年3月期 連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（A）	361,000	39,700	39,500	28,500	100.60
今回予想（B）	343,000	35,000	35,200	25,700	90.69
増減（B-A）	-18,000	-4,700	-4,300	-2,800	—
増減率（%）	-5.0%	-11.8%	-10.9%	-9.8%	—
前期実績	312,969	34,848	34,679	25,601	91.01

#### 【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2019年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2019年3月期 第2四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ  
株式会社ミスミグループ本社  
コーポレート・リレーション室 IR担当  
Tel：03-5805-7037 Fax：03-5805-7014  
mail：cc@misumi.co.jp